



第726号  
平成28年3月24日

陸上自衛隊  
北部方面隊広報紙  
発行：北部方面総監部広報室

総監要望事項

即 応  
錬 磨  
信 頼

北部方面隊  
ホームページ  
<http://www.mod.go.jp/gsd/nae/index.html>

# 北部方面総監隷下部隊を視察 現況の把握と企図の徹底を図る

北部方面総監部陸将は、2月10日から25日にかけて、上富良野駐屯地、北部方面情報隊第302沿岸監視隊、留萌駐屯地、北海道補給処沼田弾薬支処及び近文台弾薬支処・燃料支処、北海道補給処白老弾薬支処に対する隷下部隊の視察を行った。

今回の視察は、昨年の師旅団、直轄部隊の視察に引き続き行われ、それぞれの駐(分)屯地、弾薬支処、燃料支処及び沿岸監視隊の現況を把握するとともに、企図の徹底を図り、実効性ある指揮

統率を行う上で重要な機会となった。2月10日は上富良野駐屯地において、第4特科群、第2戦車連隊、第3地对艦ミサイル連隊等の主要部隊等及び駐屯地業務隊を、2月12日は標津分屯地において、北部方面情報隊第302沿岸監視隊、第2戦車連隊、第3地对艦ミサイル連隊等

の主要部隊等及び駐屯地業務隊を、2月12日は標津分屯地において、北部方面情報隊第302沿岸監視隊、第2戦車連隊、第3地对艦ミサイル連隊等



訓示 (2月12日：標津分屯地)



備じよう (2月10日：上富良野駐屯地)



生活隊舎を確認する総監 (2月19日：沼田分屯地)



駐屯地所在隊員との記念撮影 (2月18日：留萌駐屯地)



機材の説明 (2月25日：白老駐屯地)



総監への状況報告 (2月19日：近文台分屯地)

また、全隊員に対する訓示では、昨今の国内外情勢、防衛省・自衛隊に対する国民の期待を踏まえ、北部方面隊のなすべきことを述べ、即ち「錬磨」「信頼」の要望事項を徹底するとともに、各駐屯地等の特性に応じた防衛・警備や災害発生時の対応や各部隊の職種、任務に応じた練度の向上そして与えられた任務の完了を強調した。

各駐屯地等では、駐屯地等の概要、防衛警備担当地区の防衛警備や災害時の態勢等の報告を受けた後、それぞれの施設を視察し、その現況を確認した。また、全隊員に対する訓示では、昨今の国内外情勢、防衛省・自衛隊に対する国民の期待を踏まえ、北部方面隊のなすべきことを述べ、即ち「錬磨」「信頼」の要望事項を徹底するとともに、各駐屯地等の特性に応じた防衛・警備や災害発生時の対応や各部隊の職種、任務に応じた練度の向上そして与えられた任務の完了を強調した。

## 各部隊で冬季の練成訓練を実施 冬季の任務遂行の能力を向上

方面隊隷下の各部隊は2月下旬から3月上旬にかけて、冬季の練成訓練を実施し、冬季における各部隊の任務遂行能力の向上を図った。

### 7師団

第7師団は、2月27日から3月2日までの間、北海道大演習場において、第72戦車連隊及び第7通信大隊に対する第3次師団訓練検閲を行った。師団の攻撃の場面を捉え、第72戦車連隊は「師団の支隊戦正面において攻撃に任ずる戦術」としての行動、第7通信大隊は「攻撃に任ずる通信大隊としての行動」を検閲項目として行った。

27日夜半から約100kmの車両行進を開始した第72戦車連隊及び第7通信大隊は、翌28日早朝敵防衛地域に到着し、第72戦車連隊は速やかに戦術態勢を整え、敵の警戒陣地に対する戦術を開始した。以後29日までの間、数回に渡る警戒陣地に対する戦術を繰り返した。

29日夕刻、敵の警戒部隊の駆逐を繰り返す中で、敵の主戦術地域の前縁を解明した。その後態勢を整えなおした戦術



攻撃前進中の90式戦車 (第72戦車連隊)

### 5旅団

第5旅団は、2月17日から22日までの間、然別演習場において、第4普通科連隊に対する第3次旅団訓練検閲を行った。「独立的に陣地防御する増強普通科連隊の行動」を主要検閲項目として第4普通科連隊の訓練検閲を行った。18日早朝、スキー行進により前進を開始した同連隊は、同日夕刻前に防衛地域に到着、速やかに

築城に取り掛かり、敵の航空攻撃等に対処しつつ、積雪寒冷地の気象・地形を克服し、20日夜半までに防衛戦術の態勢を完成させた。21日、早朝からの敵の攻撃に対しては組織的な障害と火力をもって構成された堅固な陣地により果敢な防衛戦術を繰り広げ敵の攻撃を破砕し、状況は終了した。同連隊は、本訓練検閲を通じ、積雪寒冷地にお



防衛戦術中の隊員 (第4普通科連隊)

### 北部方面航空隊

北部方面航空隊は、2月13日から18日までの間、北海道大演習場及び同空域において、第4次航空隊統一訓練を行った。本訓練は、冬季の訓練練度維持を図るとともに、昨年受閲した訓練検閲の是正を図ることを目的とし、航空隊が統制する統制訓練と隷下各部隊計画の機能別訓練に区分し行われた。

航空隊が統制する統制訓練は、対遊撃戦術と対空戦術として統制訓練以外に、各部隊長の計画で機能別訓練を実施した。各部隊計画の機能別訓



指揮所内におけるアンテナの設置 (第7通信大隊)



方面衛生隊と協同したホイスト訓練 (北部方面航空隊)

練は、方面衛生隊と協同した患者搬送訓練、第52普通科連隊と協同した空中機動訓練、方面施設隊の支援を受けての航空野整備隊の補給倉庫の構築、対戦車ヘリコプターの係留点の設置等を行った。16日には、方面総監が訓練を視察し、状況報告を受けた後、補給倉庫等を視察した。本訓練を通じ、航空隊は、積雪寒冷地における指揮幕僚活動及び部隊の行動並びに他職種部隊との協同要領を演練し、その能力を向上させるとともに、昨年の訓練検閲の指摘事項を是正する事ができた。

# 第52回バイアスロン全日本選手権大会 第87回宮様スキー大会

## 今年は18普連が両大会を制す

北部方面隊は、2月26日から3月6日まで、西岡バイアスロン競技場において、冬季戦技教育隊長を長として第52回バイアスロン全日本選手権大会(2月26日から3月1日)及び第87回宮様スキー大会(3月3日から3月6日)の協力を得て大会運営を支援するとともに、隷下部隊が大会に参加した。冬季戦技教育隊及び各師団 方面直轄部隊の人員整備をもって編成され、コース整備及び射場準備、大会の運営、射場勤務、管理、総務に關し支援し、大会の整備に滑な運営に貢献をした。競技においては、一般銃の部(自衛隊スキー)において、真駒内駐屯地所在の18普連が日本選手権大会、宮様スキー大会ともに制し、第一位の成果を得た。

競技銃の部においては、リレーにおいて冬戦技Aチームが第一位となり、個人の部(男子)においても冬戦技の寺林拓人選手、個人の部(女子)では小林美貴選手が第一位となったほか、冬戦技の選手が上位をほぼ独占した。

また、宮様スキー大会においては方面総監、行政副長が視察した。



冬戦技選手の圧巻の走り



勤務員教育



呼吸を整え射撃選手



ゴール付近白熱した戦い

### 第87回宮様大会

- 一般銃の部(競技スキー) 優勝 海上自衛隊大湊A  
第2位 海上自衛隊大湊B
- 一般銃の部(自衛隊スキー) 優勝 第18普通科連隊  
第2位 千歳11普連バイアスロン

### 第52回バイアスロン全日本大会

- 競技銃・一般銃の部(競技スキー) シングル男子 優勝 冬季戦技教育隊F  
第2位 冬季戦技教育隊G
- 競技銃・一般銃の部(競技スキー) シングルミックス 優勝 冬季戦技教育隊A  
第2位 冬季戦技教育隊E
- 一般銃の部(自衛隊スキー) 優勝 第18普通科連隊  
第2位 2戦車上富良野

# 26普連がAGP完全勝利 第2師団武道競技会



優勝した第26普通科連隊隊員による力強い蹴り

第2師団は、3月2日、3日の2日間、旭川駐屯地にて平成27年度武道競技会を開催した。師団としては初めて銃剣道と拳法の2競技を同時に開催した。競技会は、第26普通科連隊がAGP(連隊の部)で完全優勝し、BGp大隊の部では、第2施設大隊が優勝した。

競技に先立つ開会式の中で師団長は、「練成の成果を遺憾なく発揮し、正々堂々と戦うことを期待するとともに、『勝利を追求せよ』『礼節を尽くせ』『安全管理・健康管理の厳守』を要望し、競技会が始まった。団体戦で行われた銃剣道は大将戦までもつれ込む接戦が多く

見られ最後まで勝利の予測がつかない熱戦が繰り広げられた。

また、各駐屯地が所在する各自治体からも首長等の応援団も駆け付け地元部隊に声援を送った。

AGP完全優勝の快挙を成し遂げた26普連、銃剣道訓練隊監督の山岡正明隊長は、「若い隊員をベテラン隊員がしっかりとカバーし全員で勝ち取った優勝。以前の六連覇を超える成績を残せるように精進したい」とまた、拳法訓練隊監督の白井研司2等陸曹は、「隊員全員満身創痍の中で勝ち取った優勝。ひときわうれし」と笑顔で話した。



相手の隙を逃さず攻める選手

### 平成27年度武道競技会競技結果

- 総合優勝 AGP 第26普通科連隊  
BGp 第2施設大隊
- 銃剣道団体戦 AGP優勝 第26普通科連隊  
BGp優勝 第2施設大隊  
CGp優勝 第2偵察隊
- 拳法団体戦 AGP優勝 第26普通科連隊  
BGp優勝 第2後方支援連隊
- 拳法個人戦 優勝 武田曹長(第2化学防護隊)

# 平成27年度衛生科幹部等集合訓練を実施

## 第59回北部防衛衛生学会

自衛隊札幌病院は、2月23日、平成27年度衛生科幹部等集合訓練(第59回北部防衛衛生学会)を札幌市内のホテルにおいて開催した。

学会長(自衛隊札幌病院 院長 千先陸将)の開会挨拶において、本学会のテーマ「レジリエンス」の宣言を皮切りに、今年度の訓練が開始された。

方面総監は「日航機墜落事故の災害派遣と惨事ストレス」の題で講話し、特別講演では、「想定外を乗り越える力 レジリエンス」の題で筑波大学大学院・松崎一葉教授の講演、教育講演では、「夢を追いかけて 私の宇宙飛行士への挑戦」の題で札幌秀友会病院副院長・白崎修一先生と「レジリエンス(Resilience)」精神と身体

の実践から」の題で明治神宮武道場至誠館館長・荒谷卓先生の講演を頂いた。また、指定演題「Operational Dr eam2015」の概要について、自衛隊札幌病院・小林3佐が、「Northern Res cue2015」の概要については、北部方面総監部医務官室・上田2佐と自衛隊札幌病院・中田3佐の両名が発表した。

昼食時にはランチョンセミナーを開催し、「部隊復帰支援(試行)」における立場から」の題で北部方面総監部人事部長・市村3佐が「レジリエンス」の現場から」の題で旭

川駐屯地業務隊・野川臨床心理士が発表され、会場からは講話の都度、意見・質問が挙がり、積極的な意見交換がなされた。

※レジリエンス 外力による歪みを跳ね返す力



総監講話(日航機墜落事故の災害派遣と惨事ストレス)



教育講演(明神宮武道場至誠館館長:荒谷卓先生)



教育講演(札幌秀友会病院副院長:白崎修一先生)



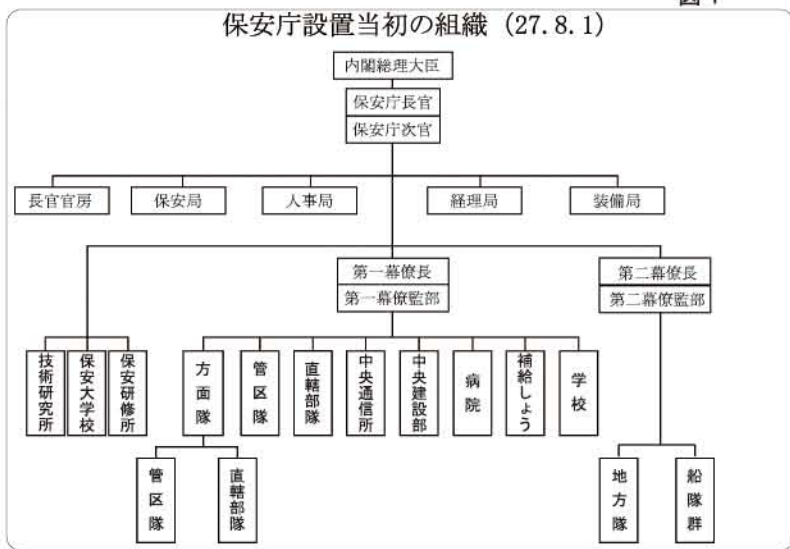
特別講演(筑波大学大学院:松崎一葉教授)

北部方面隊史

我らここにのみて 國安らかなり 第7回

保安時代その1 (誕生)

昭和27年4月の平和条約及び日米安全保障条約の発効に伴い、独立国として、直接・間接侵略に対処して、我が国を防衛するため、そして、駐留軍の漸減に伴う、我が国の自主独立体制に即応する警備力増強の必要性から、警察予備隊と海上警備隊を統合して、同年8月1日、保安庁が設置され、内部部局に長官官房、4局、第一幕僚監部(現在の陸上幕僚監部)と第二幕僚監部(現在の海上幕僚監部)と部隊及び機関が設置された。...



を一元的に教育していたところを新たに幹部学校、職種学校を開設した。保安庁設置当初の組織は図1を参照

これらに先立ち、同年7月31日に、保安庁法が制定公布された。

保安隊の任務は、基本的な性格においては変りはないが、警察予備隊令に規定されていた「国家地方警察及び自治体警察を補助するため」という文言は明示されず、行動及び権限について具体的に規定された。この後防衛庁、陸上自衛隊の設立によって、任務等については、改められることになるが、詳細は、陸上自衛隊編成記述する。警察予備隊と保安隊との任務の比較は「図2」を参照

図2 保安隊と警察予備隊の任務の比較

	保安隊 (警備隊)	警察予備隊
任務	我が国の平和と秩序を維持し、人命及び財産を保護するため特別の必要がある場合に行動する。あわせて海上における警備救難の事務を行う。 (保安庁法第4条)	我が国の平和と秩序を維持し、公共の福祉を保障するに必要な限度内で、国家地方警察及び自治体警察の警察力を補うため治安維持のため特別の必要がある場合において、内閣総理大臣の命を受け行動するものとする。 (警察予備隊令第1条、3条)

保安隊として生まれ変わるが、警察予備隊誕生から保安隊として、さらに陸上自衛隊となっていく中で、数々の改編・新編を重ね、組織として進化して行くこととなる。

図3 保安隊 (警備隊) の行動と権限の概要

	保安隊 (警備隊)
行動	命令出動 (保安庁法61条) 非常事態に際し特に必要があると認められる場合 要請出動 (保安庁法64条) 都道府県知事が治安維持上重大な事態につきやむを得ないと認めた場合、その要請に基づき 災害派遣 (保安庁法66条) 天災地変その他の災害に際して、人命または財産の保護のため必要がある場合
権限	保安庁法68条 任務遂行に必要な武器の保有及び保持 保安庁法69条 警察官職務遂行執行法の準用(命令出動、要請出動) 保安庁法73条

北の駐屯地 その歩み 第25回 白老駐屯地

白老駐屯地は、北海道胆振管内の東は苫小牧市、西は登別市に隣接する白老郡白老町の山間部に位置する大自然に囲まれた駐屯地です。白老町は、夏は涼しく冬は積雪が少ない地域で、町内いたるところに温泉が湧き出し、その泉質はバラエティーに富み、虎杖浜(こじょうはま)温泉は美肌の湯として有名です。また海釣り...



新型の火薬庫完成 (昭和34年) 落成式の様子。白老駐屯地は、北海道でも数少ない貴重な文化財として国の史跡に指定されている。

昭和28年9月には、開設された駐屯地に業務隊が編成された。主要装備は、昭和27年春以来、米極東軍司令部の在日保安顧問部を通じて、在日米軍から、105mm・155mm榴弾砲20t級の特車(戦車)の貸与を受けることとなり、第一次分の同年8月末にそれぞれの部隊への配分を終了した。また、顧問部の勧告により、編成整備表を作成し、装備の充足を行おうとしていたが、現物の貸与が間に合わず、重装備の過半数が充足されない期間がしばらく続いた。昭和28年MSA(相互安全保障法)協定の折衝が難航し、同年6月に突如貸与が中止されたが、昭和29年MSA協定が発効するに至り貸与が再開された。



開設時の本部隊舎 (昭和33年)



現在の本部隊舎

白老駐屯地の歴史は昭和31年、白老町の誘致に基づき工事が開始され、昭和33年2月幌別駐屯地白老分屯地として開設されました。2つ目はアイヌ民族博物館(別名 ポロトコタン)です。アイヌの文化遺産を保存公開する博物館で、東京オリンピック開催の2020年までに民族共生の象徴となる空間として国立アイヌ文化博物館と民族共生公園を整備し、白老町から世界へ歴史と文化等が発信されます。白老駐屯地の歴史は昭和31年、白老町の誘致に基づき工事が開始され、昭和33年2月幌別駐屯地白老分屯地として開設されました。...

人生に潤いを与える言葉 『菜根譚』の語る人生訓は、軽々しくものに屈しない強い信念をしっかりと持つことを述べています。 君子は宜しく当に冷眼を淨拭すべし。 慎んで軽々しく剛腸を動かすことなかれ。 (「菜根譚」・前集143) 即ち、「然るべき立場にある人は、冷静に眼をぬぐい清めて現実を直視し、身を慎み軽々に信念を変えるようなことがあってはならない」と云うのです。 つまり、しっかりと強い信念をもって、物事に動揺しないようにと云うのです。 [剛腸(ごうじょう)]とは「剛胆(ごうたん)」を意味し、ふだんはその素振りを見せぬが、いざという時に勇気と胆力を持ち合わせていることを現しているのではないのでしょうか。 従って、「剛腸」とは、「腹(はら)を決める」ことではないかと思えます。 心の健康相談 メンタルヘルス・カウンセラー 根本和雄

# 平成27年度 第2回方面隊オピニオンリーダー例会

北部方面総監部は、3月13日、札幌市内のホテルにおいて平成27年度第2回方面隊オピニオンリーダー例会を開催した。

今回の例会では、平成24年から4年間活動された第5期の方々に感謝状を、新たに活動いただく第7期の方々に委嘱状を贈呈した。

今年度、第2回目となる例会では、平成27年度の活動と平成28年度の活動予定の報告を行い、オピニオンリーダーの方には、平成27年度のオピニオン活動を振り返って

ただとともにも、改めてオピニオンリーダー活動に対する理解を深めていただいた。

感謝状贈呈式、委嘱状贈呈式では、総監より今年度で退任される第5期オピニオンリーダーの方に、平成24年から4年間の活動に謝意を表し、感謝状を贈呈するとともに、平成28年度から活動いただく第7期オピニオンリーダーの方に委嘱状を贈呈した。

その後、記念撮影・懇親会を行った。

懇親会では、和気藹々とした雰囲気の中、オピニ



記念撮影

オンリーダーから様々な質問が出るなど、防衛問題のみならず、幅広い分野に渡る活発な意見交換がなされた。また、今後の北部方面隊の活動において参考となる貴重なご意見を頂き、例会は盛会のうちに終了した。

方面隊オピニオンリーダーの皆様には、平成28年度においても、多数のオピニオンリーダー活動に参加して頂き、様々な方面へ情報発信して頂くことをお願いしている。



第7期の方へオピニオンリーダーを委嘱



第5期の方へ感謝状を贈呈

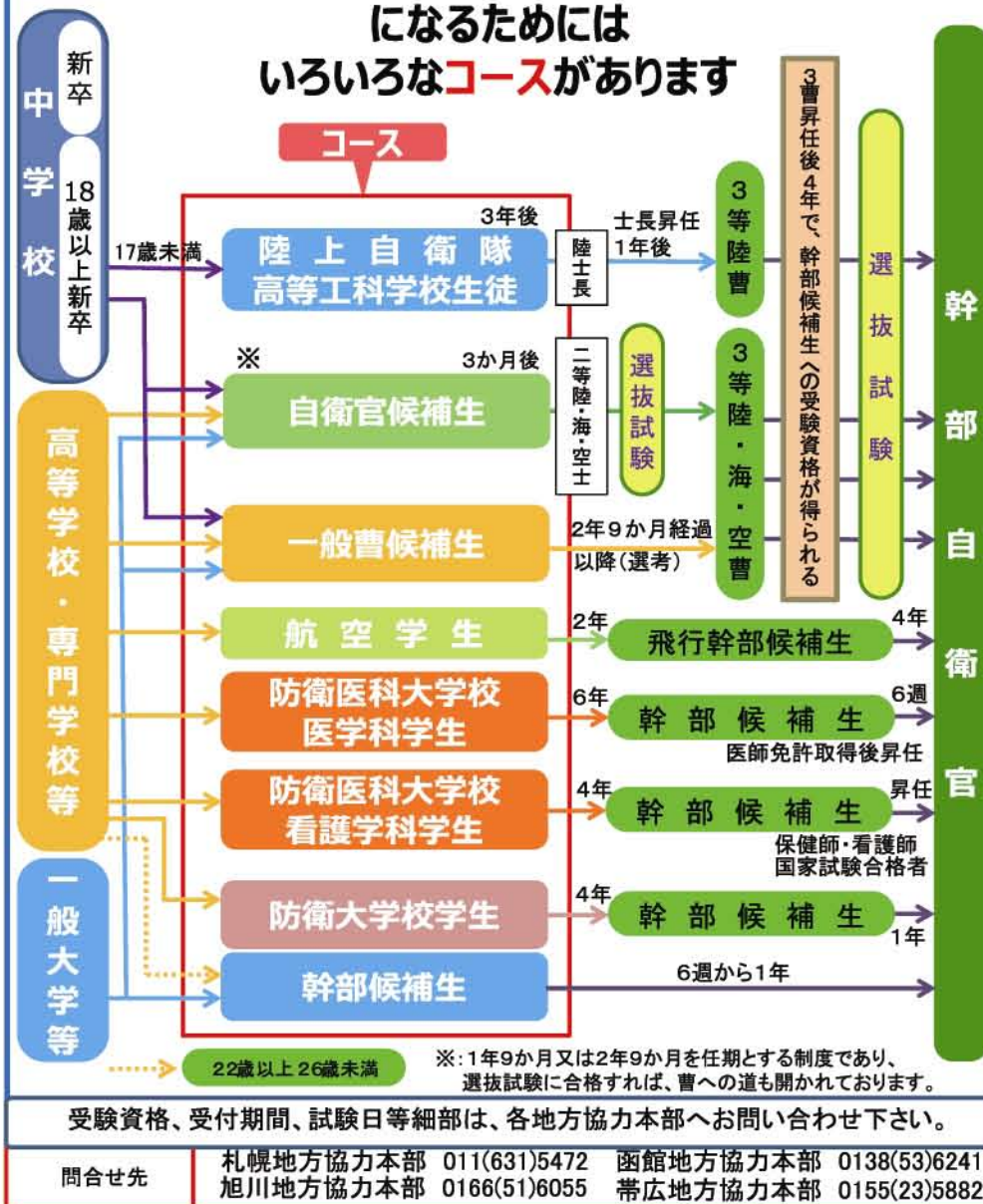
## 第7期方面隊オピニオンリーダー

- ・書道わか葉会 主宰 **阿部 和加子 氏**
- ・弁護士法人ポプラ会 代表弁護士 **尾崎 定幸 氏**
- ・株式会社あいプラン 代表取締役社長 **新道 喜信 氏**
- ・北海道旅客鉄道株式会社 取締役総合企画本部副本部長 **瀧本 峰男 氏**
- ・タナベ歯科医院 院長 **田辺 隆 氏**
- ・株式会社ほんま 代表取締役社長 **本間 幹英 氏**

(50音順)

# 自衛官

になるためには  
いろいろなコースがあります



北部方面総監部

## 緊急！縁故募集求む！

優秀な人材は隊員の情報に託されています。

貴方の身近な兄弟・親戚・友人・後輩等の縁故情報を  
関係上司に **今すぐ!!**

問合せ先(専用線)

- 札幌地方協力本部 8-11-4502(募集課)
- 旭川地方協力本部 8-16-3494(募集課)
- 函館地方協力本部 8-124-405(募集課)
- 帯広地方協力本部 8-18-2704(募集課)

<b>自衛官候補生(男子)</b> 受付期間:年間を通じて受付	<b>一般幹部候補生</b> 受付期間:平成28年3月1日(火)~5月6日(金)
------------------------------------	---

### 編集後記

本州から桜の便りが届く季節3月となりましたが、なおも雪深い北海道では、春の訪れはまだ先のようにです。しかし、道内各所で卒業式などの行事が行われ、実感として春を感じる季節であります。待ち遠しい春はもうすぐやってきます。◆今年3月は、北海道新幹線が開業することで、話題になっていきます。昭和39年の東海道新幹線の開業から約52年、新幹線は津軽海峡を越えます。本州から北海道へ列車を走行させるため最大の難関であった青函トンネルは、昭和63年の完成まで約27年の歳月を要し、そこからさらに、約28年の歳月が経ちました。関係者にしてみれば、待ち望んでいた悲願が達成したことと思えます。◆我々は、3月末に、全国から多くの若者を受け入れます。陸上自衛官として第一歩を踏み出すこの若者達は、北部方面隊の将来を担う、金の卵です。この若者達が、成長し一人立ちするまでは、長い年月が必要になります。知識や技能を修得し、経験を積み重ね、様々な壁を乗り越え、社会人、自衛官として一歩ずつ成長して行きます。我々としては、その成長を待ち遠しく感じながらも、待ち望んでいます。◆人は、簡単に達成できる目標よりも、困難で遠くにある目標の時にこそ、そこに価値を見いだし、情熱を傾け、惜しまぬ努力を傾注する事があります。その理由の一つは、傾注した努力以上の計り知れない達成感が得られるからなのでしょう。